

競技注意事項

1. 本大会は、令和8年度日本陸上競技連盟競技規則に準じて行うが、参加者の年齢段階を考慮して、特に教育的配慮のもとに競技を進行する。
2. 参加種目数は、1人2種目まで。(本大会はリレーを別枠としない。またハードルの2種目出場は不可。)コンバインドA・Bはそれぞれ1種目とカウントし、他に個人種目かリレーの1種目に参加可能。ただし、コンバインドA・Bの2種目参加は不可。
コンバインドAの中から1種目、Bの中から1種目の2種目出場は可だが、これで2種目とカウント。
3. スパイクシューズは使用してもよい。(ピンはオールウェザー用のものを使用し、長さは7ミリ以下とする。)長距離種目はスパイク不可)
4. コールは行わない。競技開始20分前までに集合の予告放送をするので、15分前までに、集合場所に集まり、係の指示に従うこと。
5. スタートはクラウチングスタートを原則とする。また、全国大会の競技規則に合わせ、同じ選手が2回フライングした場合に失格とする。(ただし教育的配慮で参考記録として記録は測定する。)

合図はイングリッシュコールとする。

6. 100m, 80mハードル, リレーの選手は、自分のレーンを走り、他のレーンの選手の妨害になる行為をしないこと。

7. ハードルの設定

	高さ	台数	ハードル間	第1ハードルまで	最終ハードル以後
60mH	60cm	6台	7m	13m	12m
80mH	70cm	9台	7m	13m	11m

8. リレー競走のテークオーバーゾーンは、30mとする。ゾーン内からスタートし、ゾーン内でバトンの受け渡しを完了すること。(最初に立つ位置はゾーン内であればどこでもいい。)
9. コンバインド種目(A…80mハードル, 走高跳 B…走幅跳, ジャベリックボール投げ)
 - ・各種目の得点は、『JAAF小学生混成競技得点表』による。
 - ・2種目の合計得点で順位を決定する。合計得点が同点の場合は同順位とする。
走幅跳, ジャベリックボール投は全員2回の試技とする。
ジャベリックボール投は、助走距離を15m以内とする。試技の際には、ボール全体を持ち、オーバーハンドスローで投げることにする。羽だけを持って投げることは禁止する。
走高跳の試技は1mから開始し、足からの着地のみ有効試技とする。2回続けて失敗した時点で終了とする。
10. 各種目とも上位6位までを表彰する。(コンバインド種目は、得点での表彰と各種目の記録での表彰の両方行う。)記録は速報用ホームページ(別ページに掲載のQRコードより)に掲示するのでよく確認のこと。
なお、倉敷JCのホームページにも掲載するので、見落とした場合はそちらで確認のこと。
11. 各チームの指導者は、見学のマナーも含めて、選手の指導・管理を徹底すること。
12. 本大会出場選手には、主催者側で1日傷害保険に加入しているが、けがや事故には十分注意すること。
大会出場時の急病・事故については、応急処置以外の責任は負わない。なおけがをして病院に行く可能性のある場合は、必ず大会終了までに本部に申し出ておくこと。
13. 貴重品の管理は各人で行うこと。紛失の責任は負わない。
14. ごみは各自持ち帰ること。
15. チームの選手の競技が全て終了したら、ナンバーカードをチームでまとめて、受付に返納すること。